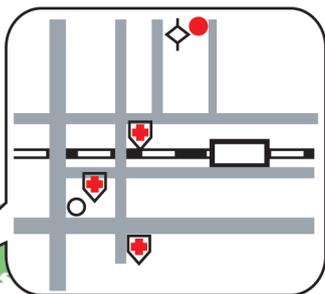
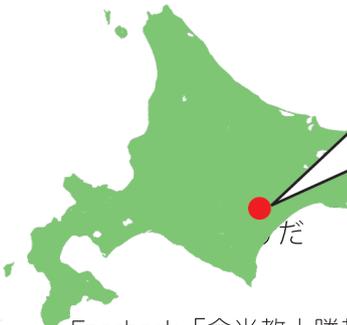


TEL 015-572-2322  
FAX 015-572-4213



金光教十勝教会  
〒083-0001

池田町旭町 1-9  
Facebook「金光教十勝教会」  
<https://konkotokachi.stars.ne.jp>

# 十勝教会 だより 96



Facebook



教会 HP (PC)



金光教公式 HP



天地のお働き＝神様？

「二度沈んだ太陽が昇ってこない。一年間雨が一滴も降らない」なんて

天地金乃神は、天地万有を生かす無限のはたらきであり、人間をはじめ万物のいのちの根源である。神は、人間を神のいとし子として愛してやまず、人間が助かり立ちゆくことをひたすら願っている。

〔「金光教教規前文」より抜粋〕

毎日休むことなく空をめぐる太陽や大地の恵み、その大地を潤す雨をはじめ天地の働き。私達はこの天地の働き

## 神様のはなし

前号から引き続き神様のお話です

金光教十勝教会

て想像ができませんね。

前号では、この「天地の恵みや体の働きをはじめ私達が生きていくのに必要不可欠な様々な働き」こそが天地金乃神様というお話をしました。

ところで、私達になくはならない天地の働きですが、残念ながら私達人間の自由にはなりません。たとえば、「私は太陽を意のままに動かせる！」なんて話は聞いたことはありませんよね。

でも、人間の自由にならないはずの太陽ですが、なぜか私達が生きていくのにほどよい暖かさや光を届けてくれますよ（季節によって多少暑い寒いはあるけどね）。しかも毎日休まずに。

この太陽の働き、これは、私達が太陽に頼んでもらっているのではありませんよね。どこかの偉い人が調整してくれているわけでもありません。太陽は、「誰も頼んでもいないのに、

私達が生きていくのにはほど良い光とぬくもりを届けてくれています。

天地に限らず私達の体の働きもそうですよね。意識すること無く休み無く動く心臓、呼吸などなど。頼んでもいないのに、ちゃんと動いて私達を生かしてくれていますよね。

この天地の働きや体の働きをはじめ「誰が頼むでもないのに、いのちを生かすために整えられている働き」が天地金乃神様だというわけです。

ではなぜ神様はそうまでして私達を生かしてくれるのでしょうか？

「人間が助かり立ちゆくことをひたすら願っている」（金光教規前文）

誰が？

「神様が」です

だからこそ、神様は人間が頼まなくても、天地の働きを整え私達を生かしてくれるのです。

神様は私達の助かり立ち行きを願われているからこそ、天地や体、万物の働きを整え、私達が生きられるように

お膳立てをしてくれている。

もうこれは勿体ないとかいうレベルではありません…みなさん一緒に神様にお礼を言いましょ！

「神様ありがとう！」

さて、神様は「人間が助かり立ちゆくことをひたすら願っている」のだと言います。だから様々な働きを整え私達を生かしてくれているのだと言えます。

では、神様が「私達の助かり」を願ってくれているのなら、神様は私達が困っている時には助けてくれるのでしょうか？

答えは「はい」です。

人間の助かり、立ちゆきを願われている神様は、私達を難儀から助けてくれます。それどころか、私達が神様に「助けて」と願う前から、私達を助けるようとしてくれています。

私達を生かす天地の働きは、私達が頼んだわけではないのに整えられていますね。同様に、私達が困っている

なら、私達が願う前から、神様は私達を助けようとしてくれています。

「なら、さつさと助けてくれ！」と言いたくなりますが、私達を助けようとする神様のお働きを受け取るには、受け取る側がひと手間かける必要があります。そう、「信心」です。

天地金乃神様が教祖様に伝えた「御神伝」にこういう一節があります。

（前略）天地の間に氏子おっておかげを知らず。（中略）前々の巡り合せて難を受け。氏子信心いたしておかげ受け。今般、天地の神より生神金光大神差し向け、願う氏子におかげを授け、理解申して聞かせ（後略）

神様は様々な難儀を受けている私達に「信心して神のおかげ（人を助けようとしている神の働き）を受け取れ」と言っています。

しかも、その信心はどういうふう

すればいいのか、ちゃんと「生神金光大神を差し向けておいたから、生神金光大神の話を聞いて信心せよ」と、神様は私達を助けるためにここまでお膳立てをしてくれていたわけです。

「人を助けたいならそんな回りくどいことせずに！」と思うかもしれませんが。実際、神様としてもそのほうが楽だとは思いますが…。残念ながら、せっかく神様が私達を助けようとしていても、私達がそのことに気付いていないことがほとんどです。私達を助けようとして神様が差し伸べてくれた手に気付く、そのための信心です。

しかも、人の悩みは千差万別、その人の悩みにあった助かりが必要です。

○  
例えばあなたがマラソンのランナーだとします。

神様は、コース途中の給水所に「あなた専用のドリンク」を用意して待機してくれています。ただし、あなたはどれが専用ドリンクなのか分かりませ

ん。それでも神様がそこで待機してくれているので神様に聞けばわかるはずですが。

ところがあなたは誰が神様なのか分かりません。結局あなたは給水所に来てもどれを取ればいいのか分からず通り過ぎてしまいました。

天地金乃神様はあなたが喉が渴いているのを知っています。だからあなたのためにドリンクを準備してくれていました。でも、あなたが神様を知らなかったためにせっかくの機会をふいに失ってしまったのです。神様があなたを助けるために準備してくれたドリンク・おかげを受け取るためには、あなたが神様のことを知っていなければいけません。

○  
神様のことを知る。それが教祖・生神金光大神様のお取次ぎを通じた信心です。そして教祖様から続く金光様、その手続である各教会のお取次ぎを通じた信心です。

せっかく神様は私達のことを助けようと手を差し伸べてくださっているの

ですから、その手をつかめるよう、お取次を頂いて、神様のことを知って、神様に気付かせてもらい、神様に助けてもらいましょう。



はたして…  
あなたは自分のドリンクを受け取ることができるか！？

**十勝教会この後の行事予定**  
薫別講社大祭 12月初旬  
越年感謝祭 12月31日  
元日祭 1月1日

**令和5年は「教祖140年」のお年です**  
教会では10月に奉祝の団体参拝を予定しています。詳細等はあらためてご案内をします。

教会日誌 令和4年8月1日から10月31日まで

8月5日 北海道教区青少年の集い「みどりのひろば」、札幌市・北海道博物館、北海道開拓の村。3名参加。

8月7日 釧路市、I家・O家、式年霊祭。

8月12日 北見市、S家、式年霊祭。

8月14日 教会設立記念祭・布教功労者報徳祭。

8月19日 浦河町、T家・O家、式年霊祭。

8月22日 士幌町、M家、式年霊祭。

9月6日 音更町、M家、式年霊祭。

9月10日 金光家先祖祭・式年霊祭、みよ子先生参拝。

9月13日 函館教会布教一三〇年記念祭・四代教会会長並三代教会長夫人式年霊祭、みよ子先生祭員御用。

9月23日 秋季霊祭。

9月24日 士幌町、T家、式年霊祭。



写真 みどりのひろば

コロナのせいもあって2年ぶりの開催になりました。今年はキャンプではなく、北海道博物館と開拓の村で、ちょっと昔の北海道の人々の暮らしをクイズ形式で勉強しました。

10月2日 本部生神金光大神大祭、教会長参拝。

10月5日 滝上礼拝所、生神金光大神大祭・秋季霊祭。

10月6日 滝上町、T家・O家、式年霊祭。

10月7日 岡山県・黒忠教会長、滝上町来訪。

10月8日 帯広市、M家、感謝祭。

10月9日 帯広市、K家、式年霊祭。

10月12日 釧路市、A家、帯広市、S家、合同式年霊祭。

10月15日 札幌市、I家、式年霊祭。

10月16日 網走教会、生神金光大神大祭、みよ子先生教話御用。

10月18日 東京都、T家、葬儀式。

10月23日 釧路教会、生神金光大神大祭、みよ子先生教話御用。



写真

右上 秋季霊祭の様子。この秋も直会のお茶会は中止、おはぎのお持ち帰りでした。

左上 滝上教会初代教会長・岡本政道先生の胸像と黒忠教会長一行（滝上町役場）。岡本政道先生は滝上町長も勤められ、滝上の発展に尽力されてきました。



左下 滝上礼拝所で御祈念をされる黒忠教会長。黒忠教会（岡山県井原市美星町）は、岡本政道が在籍していた教会で、滝上町の礎となった、岡山金光開拓団を送り出した教会でもあります。

# 生神金光大神大祭祭典次第

# 金光教十勝教会

先「親神のよごしのままに」斉唱

- 一 祭員参向席
- 一 拝 礼
- 一 神前拝詞奉唱
- 一 取次唱詞奉唱
- 一 祭主祭詞奏上
- 一 祭主玉串奉奠
- 一 天地書附奉体
- 一 参拝者代表玉串奉奠
- 一 金光大神賛仰詞奉唱
- 一 拝 礼
- 一 祭員退下
- 御神伝奉読・講師紹介
- 教 話

講師 函館東部教会

前川知世 先生

## 金光教宣言

大いなる天地に生かされる人間として  
 すべてのいのちを認め、尊び  
 神と人、人と人、人と万物が  
 あいよかけよぞ  
 共に生きる世界を実現する



KONKOKYO  
 金 光 教

## ♪ 親神のよごしのままに ♪

一、	親神の	よごしのままに
	わが生神	金光大神
	取次の	道立ちしより
	代々を経て	今につづけり
二、	神からも	氏子からも
	両方の	恩人なりと
	親神の	のらし給える
	生神を	讃えまつらん
三、	神のひれ	木綿崎山に
	照り映えて	日の光なす
	取次の	道の靈光を
	とこしえに	仰ぎまつらん

## 食 前 訓

食物はみな人の命のために  
 天地乃神のつくり  
 与え給うものぞ  
 何を食うにも飲むにも  
 ありがたく頂く心を忘れなよ

## 食 後 訓

体の丈夫を願え  
 体をつくれ  
 何事も体が元なり